





だめだ
友だちが入り口
までついてくるんだ

そ...そう ひがむな ま
かんがえてみればだ
おまえの年じやわりはないさ
よし! にいちゃんが
いっしょにいこう



ハハ...なるほど
ゆうれいはいいいしかし
ああ ぼくは
おくびようだよ
どうせこしぬけさ



うたぐりぶかい
やつらだ よし
にいちゃん
が先に
いって
るよ



こえてはいる
のは かんたん
だが...



とこ
だな
そろそろ
賢二たちが
やってくる
はいって
なまき



いっくら おぼけ屋敷と
いっても ヘイをのりこえて
はいるのは 誇りが
ゆるさん...



そんなこと
ってどん
なことだ
う!



ち...
ちがうよ
そんなこと
じゃないや



うらん
なんでも
ないよ
フン
さては...



わかったよ
オーバーだなあ
話をすよ



と...とにかく
にいちゃん
には関係ない
よ
にいちゃんには話せない!
にいちゃんは信用できない
にいちゃんは...



ぼく 友だちと
いいあって
やむなく探検
をひきつけ
ちゃったんだ
!



ああ あの
洋館か
にいちゃんは 夕日が丘の
おぼけ屋敷をすってるだろ



OK! 男の一言だ
だけど
わらっちゃ
いやだよ



そんなら なにもかんがえる
ことはないじゃないか
いってこいよ
いける
くらい
ならい
かんがえ
や



つまり できるか
でないか
ん!
ぼくは ゆうれい
なんて でないって
いったんだ

